

◎=よくできている ○=できている
△=もう少し

第2次芦屋市地域福祉計画の実施プラン

事業者名 団体名 あじさいの会

推進目標	取組の柱と協働して取り組む方向	連携・協働したら出来ること(27年度)	取組状況	今取り組んでいること(27年度)	今後取り組みたいこと(28年度)	連携・協働したら出来ること(28年度)	取組状況
1. 地域福祉への関心と理解を広げます	1-1) 地域福祉の呼びかけ * 地域福祉は、一人ひとりの暮らしに関わるものだとすることを伝えあいます。	社会福祉協議会 市内の男性介護者の会	△	認知症サポーター養成講座。	・男性介護者のつどい。 ・認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	△
	1-2) 学習と話しあいの推進 * 学校、公民館、地域、職場等のさまざまなところで地域福祉について学び、考えます。	同上。	○	認知症サポーター養成講座。	・男性介護者のつどい。 ・認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
	1-3) 情報の発信・伝達 * 地域福祉のさまざまな情報を発信します。	同上。	○	会報発行。 講演会開催。	・男性介護者のつどい。 ・認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
	* 必要な人に必要な情報が届くよう、きめ細かく伝えます。	同上。	○	会報発行。 講演会開催。	会報発行。 認知症サポーター養成講座。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
	* 必要な情報を自分で得るように努力します。	特になし。	○	他の家族会、講演会に参加。その他認知症に関するものの情報を得る。	会報発行。 認知症サポーター養成講座。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
2. 暮らしの“困りごと”を適切な支援につなぎます	2-1) ニーズの気づき・発見 * 生活の“困りごと”に早めに気づき、自分で対処したり、必要な支援を求める意識を高めます。	社会福祉協議会	○	定例会。	会報発行。 認知症サポーター養成講座。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
	2-2) 相談支援の充実 * 身近なところで気軽に相談でき、アドバイスや支援をしたり、専門的な機関につなぐ取組を広げます。	同上。	○	定例会。	会報発行。 認知症サポーター養成講座。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
3. 地域生活を支えるサービスや活動を充実します	3-1) 福祉サービスの充実 * 地域で自立して生活できるよう、多様なニーズに応える質の高い福祉サービスを提供します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	3-2) 地域福祉活動の推進 * さまざまなニーズにきめ細かく応える多様な地域福祉活動をすすめるよう、一人ひとりが「できること」で参加し、多彩な人々に呼びかけて広げます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	3-3) 多様な連携による支援 * 新たなニーズや困難な課題が起きたときはみんなで集まって話しあい、力をあわせて取り組みます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	

推進目標	取組の柱と協働して取り組む方向	連携・協働したら出来ること（27年度）	取組状況	今取り組んでいること（27年度）	今後取り組みたいこと（28年度）	連携・協働したら出来ること（28年度）	取組状況
4. 権利をまもる取組を充実します	4-1) 権利擁護の意識づくり *お互いのニーズを理解し、権利を尊重して生活する意識を高めます。	社会福祉協議会	○	認知症サポーター養成講座。	認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
	4-2) 権利侵害・虐待対応の充実 *権利侵害や虐待を予防するための支援と迅速・的確な対応を、地域の力をあわせてすすめます。	同上。	○	認知症サポーター養成講座。	認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
	4-3) 後見的支援の充実 *判断能力が不十分な人が自立した生活ができるよう、支援します。	同上。	○	認知症サポーター養成講座。	認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
5. 人と人のつながりを広げます	5-1) 地域でのつながりづくり *あいさつや交流を積極的に行い、困ったときにはたすけあえるつながりと“絆”を広げます。 *地域で支えあうために必要な個人情報の共有について、話しあいをすすめます。	同上。	○	認知症サポーター養成講座。	認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
		特になし。		認知症サポーター養成講座。	認知症サポーターの養成。	社会福祉協議会 市の関係機関 福祉施設	○
6. 安心・安全でバリアのない生活環境をつくりまします	6-1) 災害時の支援 *災害時にだれもが安全に避難できるよう、日頃から準備をすすめます。	同上。	○	特になし。	特になし。	特になし。	
	6-2) バリアフリーのまちづくり *だれもが安心して快適に外出し、社会参加ができる環境をつくりまします。	同上。	○	特になし。	特になし。	特になし。	
	6-3) 防犯・交通安全の推進 *犯罪や事故のない安全なまちを、地域の力をあわせてつくりまします。	同上。	○	特になし。	特になし。	特になし。	
	6-4) 住環境の充実 *介護や支援が必要になっても安心して暮らせる住まいづくりをすすめます。	同上。	○	特になし。	特になし。	特になし。	
7. 地域福祉の活動を支えるしくみを充実します	7-1) 活動拠点の充実 *地域の多様な資源を活かして、利用しやすい活動拠点を増やします。	市 社会福祉協議会	△	認知症サポーター養成講座。	小さなグループで認知症サポーター養成講座を開催する。	社会福祉協議会	○
	7-2) 活動財源の確保 *地域福祉活動への参加としての“寄附文化”を広げながら、多様な方法で活動の財源を生み出します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	7-3) 活動への支援 *“楽しく”、“しっかり”活動できるよう支援するしくみと取組を充実します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	7-4) 協働活動・事業の推進 *“公と民”、“民と民”の多様な協働で、具体的な活動や事業をすすめます。	市 社会福祉協議会	○	特になし。	特になし。	特になし。	
	7-5) ネットワークの充実 *地域のさまざまな人々が出会い、協議し協働するしくみを充実します。	市 社会福祉協議会	○	特になし。	特になし。	特になし。	

第2次芦屋市地域福祉計画の実施プラン

〔 事業所名 : (特活) あしやNPOセンター 〕

◎=よくできている ○=できている
△=もう少し

推進目標	取組の柱と協働して取り組む方向	連携・協働したら出来ること(27年度)	取組状況	今取り組んでいること(27年度)	今後取り組みたいこと(28年度)	連携・協働したら出来ること(28年度)	取組状況
1. 地域福祉への関心と理解を広げます	1-1) 地域福祉の呼びかけ * 地域福祉は、一人ひとりの暮らしに関わるものだと いうことを伝えあいます。	特になし。	◎	NPO団体が支援しやすい環境づくりと相談支援。 地域課題解決の仕組みづくりの一環とし、様々な問題を解決するため多様な主体に多方面から団体の課題、ひいては地域の課題を共有し、課題解決に向けた取り組み及び仕組みを考える場の構築。(市民ひろば)	NPO団体への協力支援。 市民ひろばの充実。	地域課題を横繋がりて解決するネットワークをつくる。	△
	1-2) 学習と話しあいの推進 * 学校、公民館、地域、職場等のさまざまなところで地域福祉について学び、考えます。	特になし。	◎	地域課題解決の担い手のひとつとして、芦屋市立あしや市民活動センター登録団体のスキルアップを目的にアンケート調査を実施し、団体の課題を探る。 市内NPO団体を中心に団体交流会を定期的に開催している。	芦屋市立あしや市民活動センター登録団体提出報告書のアドバイス及び、市内NPO団体の団体交流会、NPOセミナーを開催。	特になし。	○
	1-3) 情報の発信・伝達 * 地域福祉のさまざまな情報を発信します。	特になし。	○	季刊紙等の紙媒体と、あしや市民活動センター及び、あしやNPOセンターのホームページから団体情報及び、助成金情報を発信している。	前年度と同様に紙媒体とITをツールとして情報発信を行う。	情報共有の場を設ける。	◎
	* 必要な人に必要な情報が届くよう、きめ細かく伝えます。	特になし。	△	ダイレクトメール及び紙媒体で助成金情報などは配信している。	前年度と同様。	特になし。	◎
	* 必要な情報を自分で得るように努力します。	特になし。	△	他団体、他市のセンターとのネットワークにより情報を得て、必要なものはあしや市民活動センター登録団体へ送っている。	前年度と同様。	特になし。	◎
2. 暮らしの“困りごと”を適切な支援につなぎます	2-1) ニーズの気づき・発見 * 生活の“困りごと”に早めに気づき、自分で対処したり、必要な支援を求める意識を高めます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	2-2) 相談支援の充実 * 身近なところで気軽に相談でき、アドバイスや支援をしたり、専門的な機関につなぐ取組を広げます。	特になし。	◎	来館はもとより電話による相談も気軽に受け、専門的なものは当法人の専門職に依頼し、充実した取組を行っている。	ご相談内容によっては出張相談等も受けられるように幅を広げていきたい。	相談の幅を広げるためにも、情報の共有できるネットワークを築きたい。	◎
3. 地域生活を支えるサービスや活動を充実します	3-1) 福祉サービスの充実 * 地域で自立して生活できるよう、多様なニーズに応える質の高い福祉サービスを提供します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	3-2) 地域福祉活動の推進 * さまざまなニーズにきめ細かく応える多様な地域福祉活動をすすめるよう、一人ひとりが「できること」で参加し、多彩な人々に呼びかけて広げます。	特になし。		特になし。	特になし。	あしや市民活動フェスタでの参画協働	
	3-3) 多様な連携による支援 * 新たなニーズや困難な課題が起きたときはみんなで集まって話しあい、力をあわせて取り組みます。	特になし。		福祉系も含めた市民活動団体との連携による会議体の構築	福祉系も含めた市民活動団体の連携による会議体での芦屋市における課題解決の方向性や行政との連携を目指す。	特になし。	△

第2次芦屋市地域福祉計画の実施プラン

〔 事業所名 : (特活) あしやNPOセンター 〕

◎=よくできている ○=できている
△=もう少し

推進目標	取組の柱と協働して取り組む方向	連携・協働したら出来ること(27年度)	取組状況	今取り組んでいること(27年度)	今後取り組みたいこと(28年度)	連携・協働したら出来ること(28年度)	取組状況
4. 権利をまもる取組を充実します	4-1) 権利擁護の意識づくり *お互いのニーズを理解し、権利を尊重して生活する意識を高めます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	4-2) 権利侵害・虐待対応の充実 *権利侵害や虐待を予防するための支援と迅速・的確な対応を、地域の力をあわせてすすめます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	4-3) 後見的支援の充実 *判断能力が不十分な人が自立した生活ができるよう、支援します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
5. 人と人のつながりを広げます	5-1) 地域でのつながりづくり *あいさつや交流を積極的に行い、困ったときにはたすけあえるつながりと“絆”を広げます。	特になし。	◎	団体交流会を定期的開催し、団体間のつながりや、団体の課題を話し合う場を設けている。	27年度同様に団体交流会を定期的開く。あしや市民活動フェスタでの団体間やボランティアとの繋がりを深める工夫をする。	特になし。	◎
	*地域で支えあうために必要な個人情報の共有について、話しあいをすすめます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
6. 安心・安全でバリアのない生活環境をつくります	6-1) 災害時の支援 *災害時にだれもが安全に避難できるよう、日頃から準備をすすめます。	特になし。	○	団体を中心に消防本部に協力をお願いし、AED講習会及び避難経路の確認を行っている。	平成27年度同様にAED講習会を定期的に行い、消防訓練、避難訓練を強化する。	特になし。	○
	6-2) バリアフリーのまちづくり *だれもが安心して快適に外出し、社会参加ができる環境をつくります。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	6-3) 防犯・交通安全の推進 *犯罪や事故のない安全なまちを、地域の力をあわせてつくります。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	6-4) 住環境の充実 *介護や支援が必要になっても安心して暮らせる住まいづくりをすすめます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
7. 地域福祉の活動を支えるしくみを充実します	7-1) 活動拠点の充実 *地域の多様な資源を活かして、利用しやすい活動拠点を増やします。	特になし。	○	センター内のアンケート調査を実施し、年4回発行の季刊紙上で意見に対する回答を行っている。	アンケート調査を継続し、利用傾向の分析を行い、利用者により使いやすくなるよう工夫する。	特になし。	○
	7-2) 活動財源の確保 *地域福祉活動への参加としての“寄附文化”を広げながら、多様な方法で活動の財源を生み出します。	特になし。	◎	助成金情報の提供と、相談業務を行っている。団体交流スペースを利用し、団体活動の紹介と団体のオリジナルグッズの販売により活動資源を得るよう提供している。	平成27年度と同様。	特になし。	◎
	7-3) 活動への支援 *“楽しく”、“しっかり”活動できるよう支援するしくみと取組を充実します。	特になし。	○	団体の企画講座の応援として、企画、広報、集客の相談と、助成金を提供している。あしや市民活動フェスタや団体交流会での繋がりと紹介の場を提供している。	平成27年度同様	特になし。	◎
	7-4) 協働活動・事業の推進 *“公と民”、“民と民”の多様な協働で、具体的な活動や事業をすすめます。	特になし。	○	多様な活動団体からなる会議体による課題解決の場を構築する。	多様な活動団体からなる会議体による課題解決の場を充実させる。	特になし。	○
	7-5) ネットワークの充実 *地域のさまざまな人々が出会い、協議し協働するしくみを充実します。	特になし。	△	多様な団体の交流、目的を絞った団体間の交流、阪神間の交流と、様々なネットワークの場を持っている。	多様なネットワークから話し合う場だけでなく、ワークできる場にしていきたい。	特になし。	○

第2次芦屋市地域福祉計画の実施プラン

〔個人名 許 和子〕

◎=よくできている ○=できている
△=もう少し

推進目標	取組の柱と協働して取り組む方向	連携・協働したら出来ること(27年度)	取組状況	今取り組んでいること(27年度)	今後取り組みたいこと(28年度)	連携・協働したら出来ること(28年度)	取組状況
1. 地域福祉への関心と理解を上げます	1-1) 地域福祉の呼びかけ *地域福祉は、一人ひとりの暮らしに関わるものだと いうことを伝えあいます。	特になし。	○	人と人がつながるには家族一夫婦、親子が仲良くしていることが大切。その逆も言える。実際、自分への反省がよくできた。	さらに家族との絆を深め、自分磨きを進めたい。	特になし。	◎
	1-2) 学習と話しあいの推進 *学校、公民館、地域、職場等のさまざまなところで 地域福祉について学び、考えます。	特になし。	○	イベントの開催。 親子教室の広がり。	さらに家族との絆を深め、自分磨きを進めたい 教室が広がること。	ボランティアでもいたします のでお教室が開催できました らうれしく思います。	◎
	1-3) 情報の発信・伝達 *地域福祉のさまざまな情報を発信します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	*必要な人に必要な情報が届くよう、きめ細かく伝えます。 *必要な情報を自分で得るように努力します。	特になし。 特になし。		特になし。 特になし。	特になし。 特になし。	特になし。 特になし。	
2. 暮らしの“困りごと”を適切な支援につなぎます	2-1) ニーズの気づき・発見 *生活の“困りごと”に早めに気づき、自分で対処したり、 必要な支援を求める意識を高めます。	特になし。	△	お教室の関係でたくさん相談を受けました。	地域を超えてまた、地域の中で一人ひとりの方が自立できる ようほんの少しでも援護できたらと思います。	特になし。	○
	2-2) 相談支援の充実 *身近なところで気軽に相談でき、アドバイスや支援を したり、専門的な機関につなぐ取組を広げます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
3. 地域生活を支えるサービスや活動を充実します	3-1) 福祉サービスの充実 *地域で自立して生活できるよう、多様なニーズに応える 質の高い福祉サービスを提供します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	3-2) 地域福祉活動の推進 *さまざまなニーズにきめ細かく応える多様な地域福祉 活動をすすめるよう、一人ひとりが「できること」 で参加し、多彩な人々に呼びかけて広げます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	
	3-3) 多様な連携による支援 *新たなニーズや困難な課題が起きたときはみんなで 集まって話しあい、力をあわせて取り組みます。	例えば神戸では個人の知識特技を登録できます。個人情報に配慮して受講したい方とのつなぎの役割をして頂けると助けてほしい人教えたい人と教わりたい人がつながると思います。		特になし。	特になし。	特になし。	
4. 権利をまもる取組を充実します	4-1) 権利擁護の意識づくり *お互いのニーズを理解し、権利を尊重して生活する 意識を高めます。	特になし。		成年後見制度ではたくさんの不正が発覚し、見直しが必要 になっています。意識改革や改善にむけて声をあげていく。	成年後見制度ではたくさんの不正が発覚し、見直しが必要 になっています。意識改革や改善にむけて声をあげていく。	特になし。	△
	4-2) 権利侵害・虐待対応の充実 *権利侵害や虐待を予防するための支援と迅速・的確な 対応を、地域の力をあわせてすすめます。	見守る存在がいる中での子ども達が自由に出入りし くつろげる場所。共に管理できたらいいなと考えます。	△	今はまだ身近の方々、お知り合いの方にだけ講座を 提供しています。	さらに広がりをもっともちたいと思います。	特になし。	○
	4-3) 後見的支援の充実 *判断能力が不十分な人が自立した生活ができるよう、 支援します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。	

推進目標	取組の柱と協働して取り組む方向	連携・協働したら出来ること(27年度)	取組状況	今取り組んでいること(27年度)	今後取り組みたいこと(28年度)	連携・協働したら出来ること(28年度)	取組状況	
5. 人と人のつながりを広げます	5-1) 地域でのつながりづくり *あいさつや交流を積極的に行い、困ったときにはたすけあえるつながりと“絆”を広げます。 *地域で支えあうために必要な個人情報の共有について、話し合いをすすめます。	特になし。	△	地域社会の希薄化が言われますが、さらに地域を超えたつながりも大切にしていっていいのではと考えています。 様々な場所でイベントなど行っています。	親子でもものづくり教室や共に楽しめるイベントの仕掛けづくり。	何年か、十年か先に多くの地域で少子化により地域の在り方は変化していきます。その時地域を超えたつながりや連携・助け合いもありたいと思います。	△	
6. 安心・安全でバリアのない生活環境をつくりま	6-1) 災害時の支援 *災害時にだれもが安全に避難できるよう、日頃から準備をすすめます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。		
	6-2) バリアフリーのまちづくり *だれもが安心して快適に外出し、社会参加ができる環境をつくりま	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。		
	6-3) 防犯・交通安全の推進 *犯罪や事故のない安全なまちを、地域の力をあわせてつくりま	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。		
	6-4) 住環境の充実 *介護や支援が必要になっても安心して暮らせる住まいづくりをすすめます。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。		
7. 地域福祉の活動を支えるしくみを充実します	7-1) 活動拠点の充実 *地域の多様な資源を活かして、利用しやすい活動拠点を増やします。	特になし。	△	借りれる場所を探したり、他の団体のお話を聞いたりしています。	今後は他の団体ともつながりながら少しずつ広がりを見せたいと思います。	特になし。	○	
	7-2) 活動財源の確保 *地域福祉活動への参加としての“寄附文化”を広げながら、多様な方法で活動の財源を生み出します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。		
	7-3) 活動への支援 *“楽しく”、“しっかり”活動できるよう支援するしくみと取組を充実します。	特になし。		特になし。	特になし。	特になし。		
	7-4) 協働活動・事業の推進 *“公と民”、“民と民”の多様な協働で、具体的な活動や事業をすすめます。	協働して各課各部が連動されているお話をきいて市民として安心感がわき、おつきあいしやすい市役所というイメージに変わりました。しかし一部の課ではまだたらい回し方式をされていて残念でした。		◎	特になし。	人は共に話し、共に食し、共に(飲み)、共に買い物して仲良くなる、分かり合えるといいます。もっと食し、話し合える場・時間を持ち、推敲していただければ幸いです。	そういった場、時間を作られます時はお手伝いいたします。	△
	7-5) ネットワークの充実 *地域のさまざまな人々が出会い、協議し協働するしくみを充実します。	特になし。			特になし。	特になし。	特になし。	